

言語文化学部・国際社会学部・国際日本学部
2024年度前期日程入学試験問題
地理歴史（日本史）
正解・配点・解答例（100点満点）

1〔60点〕 単答 5点×8 + 論述 20点

問1 榎本武揚〔5点〕

問2 1875年〔5点〕

問3 黒田清隆〔5点〕

問4 屯田〔5点〕

問5 知里幸恵〔5点〕

問6 b 矢獵 c 銃獵〔計5点〕

問7 (I) 北海道旧土人保護法〔5点〕 (II) アイヌ文化振興法〔5点〕

問8〔20点〕

【解答例】

1869年、明治政府は開拓使を設置し、蝦夷地を北海道へと改称して、日本国家の直接支配へと編入し、和人の移住を促進した。近世の場所請負制は廃止され、請負人による独占的な漁場支配が否定された。黒田清隆の建言により、防備を兼ねて農耕を行なう屯田兵制度が採用され、北海道開拓が進められた。アイヌに対しては、日本の戸籍を付与し、行政上では旧土人として区別した。アイヌ民族の伝統的な生活様式や風俗などは否定された。日本語や和人風的生活様式などの教育が行なわれた。こうしてアイヌ民族の和人社会への同化が推進された。また、アイヌ民族が狩猟採集を行っていた北海道の大地は農地として開発され、生計の道を失うことになった。そこで開拓使は土地・農具を付与し、勸農政策を推進した。これに対し、アイヌからも伝統的な生活様式の維持を求める動きもあったが、和人社会に従属的に組み込まれるなかで、その多くは困難な生活を余儀なくされた。
(398字)

2〔40点〕 単答 5点×6 + 論述 10点

問1 荻生徂徠〔5点〕

問2 上下万民をみな土地に着けること
礼法の制度を立てること〔計5点〕

問3 参勤交代〔5点〕

問4 豊臣秀吉〔5点〕

問5 金地院崇伝〔5点〕

問6 軍役〔5点〕

問7〔10点〕

【解答例】

武士困窮の原因は、兵農分離により、武士を城下町に集住させ、生活に必要なものすべてを商人から購入させるようにしたことにある。そこで、武士を土着させ、身分に応じた秩序、制度を立てることが必要である。(97字)